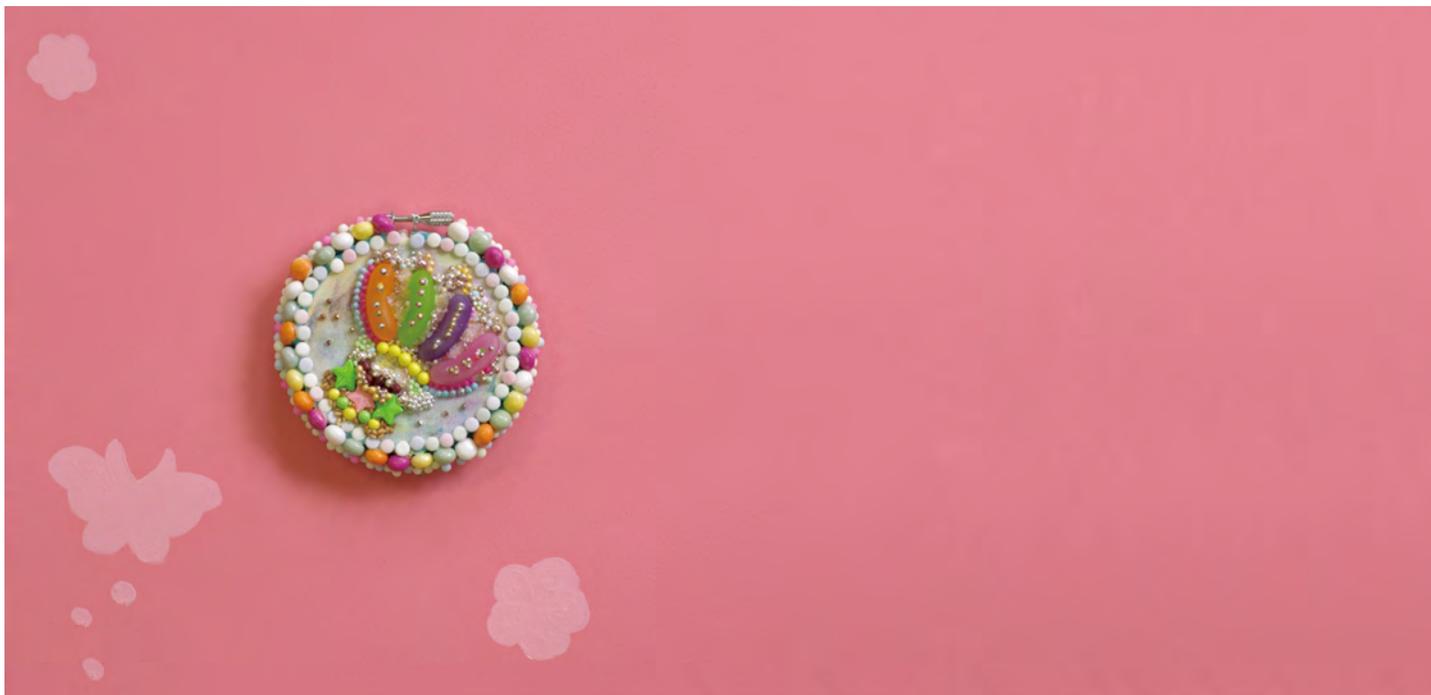


Press Release:2011.11.16

## 藤川 怜子：スマとわたしの7ヶ月

FUJIKAWA Satoko Exhibition

2011年12月13日(火) — 12月25日(日) 11:00~19:00 ※月曜休廊 / 最終日18:00まで



【画像1】作品の一部(刺繍枠を用いて布地にお菓子用の素材などでデコレーションしている)

### ご案内

Gallery PARC[グランマーブル ギャラリー・パルク]では、2011年12月13日から12月25日まで、「藤川 怜子：スマとわたしの7ヶ月」展を開催いたします。

藤川 怜子(1983~)は、2003年に京都精華大学芸術学部立体造形分野に入学して以降、積極的に発表に取り組み、2007年の同大学卒業以降も様々な場所で、幅広く作品発表を続けています。

おもに鉄などの素材を用い、その特質を活かした彫刻的な作品から、シリコンや発光ダイオードによって空間全体を作品化するインスタレーションなど、その発表形態・内容は多岐に渡ります。

「作品制作は、私にとって人生の挿絵を描いているようであり、人生の一部から外すことのできないライフワークのひとつです。」と藤川の語るように、その作品はいずれも自身の経験や内面に深く切り込み、近年では「人の生や死」を大きなテーマとして、そこに向き合うとともに、場所や素材と向き合うなかで、確固たる表現へと展開していく過程を辿ってきました。

本展は藤川の過去の恋愛、「スマ(彼)とわたし(藤川)の(個人的な)7ヶ月」の間にあった、「最後まで本心を見せて向き合うことが出来ず、恋に恋して、そして終わってしまった恋愛」の感動や記憶を基にした作品で構成されています。

子供サイズで制作された白いドレスは、お菓子や化粧品で装飾され、一見するととてもカラフルで華やいだ印象を与えます。しかし藤川は「お菓子は甘く儂いもの、永遠には保存できない朽ち果てていく存在」として、化粧品は「自分をより良く見せる(素顔や本心を隠してしまう)アイテムとして扱い、実際に長期間にわたって制作されてきた7着ものドレスには、制作時期の違いによる劣化や風化が見られます。

藤川にとって、本展はそのテーマや素材、作品の構築に至るまで、これまでとは異なるアプローチで取り組むものとなります。

また、それは今後の作家としての活動にとっても転換点となるものではないでしょうか。

つきましては、本展の周知にご協力くださいますようよろしくお願いいたします。

本展の周知・広報にご協力頂ける際に、広報用画像をご用意しております。

本リリース掲載画像からご希望の画像番号および掲載媒体情報を明記の上、Gallery PARC[galleryparc@grandmarble.com]迄ご連絡ください。

尚、個人の鑑賞および利用を目的とする場合は、画像の貸出しはお断りしておりますのでご了承ください。

Press Release:2011.11.16



【画像2】作品の一部(お菓子用の素材や化粧品で装飾された作品のひとつ)

展覧会名 スマとわたしの7ヶ月

出品作家 藤川怜子(ふじかわ・さとこ)

会 期 2011年12月13日(火) - 12月25日(日) 11:00~19:00 月曜休廊・最終日18:00まで

会 場 Gallery PARC(グランマーブル ギャラリー・パルク)

〒604-8082 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48 三条ありもとビル[ル・グランマーブル カフェ クラッセ]2階

【Tel&Fax】075-231-0706 【Mail】 galleryparc@grandmarble.com 【HP】 <http://www.grandmarble.com/parc/>

アクセス 阪急河原町駅・三条京阪駅より徒歩10分、地下鉄東西線京都市役所前駅より徒歩3分

Press Release:2011.11.16



藤川怜子によるテキスト

【展覧会について】

自身の実体験を元に制作を続けています。

作品制作は、私にとって人生の挿絵を描いているようであり、人生の一部から外すことのできないライフワークのひとつです。

この数年間、おもに人の生や死について制作を続けてきましたが、昨年、久しぶりに誰かを好きになり、世界がとても華やいだ気持ちになりました。

残念ながら彼は去っていましたが、そのときの感動や記憶、感情を作品で表現したいと思います。

【作品について】

子どもサイズで制作された裾の長い白いドレスで、初恋にも近い純真な心を表現していきます。また、そのスカートにはお菓子や化粧品で、私の感じた世界を具現化していきます。

お菓子は甘く儂いもの、永遠には保存できない朽ち果てていく存在として。

化粧品は自分をよりよく見せるのアイテムですが、素顔や本心を隠してしまう偽物の存在として。

最後まで本心を見せて向き合うことのできず、恋に恋してしまったようなスマ(彼)と私の個人的な7ヶ月間を作品で展開していきたいと思っています。

Press Release:2011.11.16



【画像4】  
「セナがつぶやく、サコがつぶやく」  
2007 銅線・椅子・鉄・机・シャンデリア  
CAP HOUSE 402号室



【画像5】  
「再見蝶のゆくえ」  
2008 鉄  
GALLERY & CAFE HANARE



【画像6】  
「彼のかげら、蝶のゆくえ」  
2009 陶花・椅子・鉄・鳥かご  
立体ギャラリー射手座



【画像7】【画像8】  
「みえるもの、みえないもの」  
2011 鉄  
CAP STUDIO Y3



## 【藤川 怜子】

### 略歴

- 1983 神戸市生まれ
- 2001 私立親和女子高等学校卒業。
- 2003 京都精華大学芸術学部立体造形分野入学
- 2007 京都精華大学芸術学部立体造形分野卒業
- 2007年より NPO法人 [C.A.P芸術と計画会議] 正会員
- 2007-2010 京都精華大学 立体造形研究室 アシスタント

### 個展

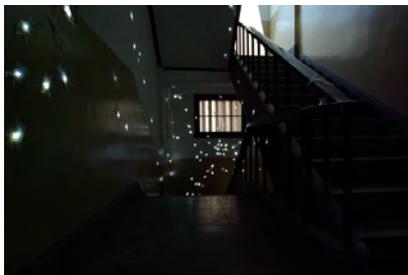
- 2007 セナがつぶやく、サコがつぶやく、 CAP HOUSE(神戸)
- 2008 再見蝶のゆくえ GALLERY & CAFE HANARE(兵庫)
- 2009 彼のかげら、蝶のゆくえ 立体ギャラリー射手座(京都)
- 2010 みえるもの、みえないもの STUDIO Y3(神戸)

### グループ展

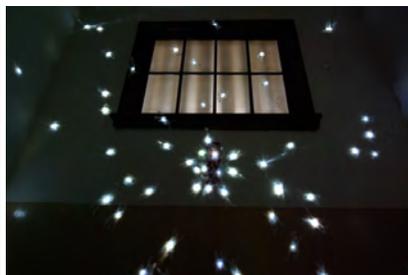
- 2002 第1回「アトリエKAI展」 アトリエKAI(神戸)
- 2003 第2回「アトリエKAI展」 神戸まちづくり会館B1ギャラリー(神戸)
- 「せんだいアートアニュアル2003」 せんだいメディアテーク(宮城)
- 2004 第4回ヤングアーティスト「+1」展 アートフォーラムJARFO(京都)
- 第3回「アトリエKAI展」 神戸アートビレッジセンター(神戸)
- 「せんだいアートアニュアル2004」 せんだいメディアテーク(宮城)
- 2005 第5回ヤングアーティスト「三歩進んで二歩下がる」展、「証明写真」展  
アートフォーラムJARFO(京都)
- ヤングアーティスト「ラクガキ」展 ナジックスクエア(京都)
- 第4回「アトリエKAI K+展」 思文閣会館(京都)
- 「せんだいアートアニュアル2005」 せんだいメディアテーク(宮城)
- 2006 京都精華大学立体造形3回生展「石ノ上ニモ3回展」 ギャラリーそわか(京都)
- 京都精華大学立体造形4回生「野外展」 京都精華大学内 食堂前(京都)
- 第6回ヤングアーティスト「YOUNGER ARTIST#6」 アートフォーラムJARFO(京都)
- 青年アジア芸術祭Asia Art Festival2006「Beyond the rainbow」  
韓国昌原 アートホール(韓国)
- 2007 京都精華大学卒業制作展 京都市美術館(京都)
- 2008 音箱展 神戸アートビレッジセンター(神戸)
- 「Rendez Vous a la Mer〜海で会いましょう」日仏交流展 STUDIO Q2(神戸)
- 「CAP TABLE」展 神戸アートホール(神戸)
- 2009 「Milky Way」展 デラ・パーチェ(神戸)
- 2010 CAP ART MARKET2010 STUDIO Y3(神戸)
- 「CONVERT # photograph」展 ギャラリーアーティストロング(京都)
- TWIST & SHOUT 旧国立生糸検査所(神戸)
- 2011 CAP ART MARKET2011 STUDIO Y3(神戸)
- HANARE de BAZAAR GALLERY & CAFE HANARE(兵庫)
- 「photograph〜アーティストの見たもの」 STUDIO Y3(神戸)

### 買い上げ

- 2009 積水ハウス／ハーズ西宮 住宅展示場
- 2011 個人住宅 表札制作



【画像9】  
「夜光虫」  
2010 シリコン・発光ダイオード  
旧生糸検査所



【画像10】  
「夜光虫」  
2010 シリコン・発光ダイオード  
旧生糸検査所